



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社  
 コード番号 6699 URL <https://www.diaelec-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 小野 有理  
 兼 グループCEO

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 CFO (氏名) 徳原 英真 (TEL) 06-6302-8211

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高    |      | 営業利益   |   | 経常利益  |   | 親会社株主に帰属する四半期純利益 |   |
|---------------|--------|------|--------|---|-------|---|------------------|---|
|               | 百万円    | %    | 百万円    | % | 百万円   | % | 百万円              | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 43,263 | 11.7 | △1,583 | — | △220  | — | △580             | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 38,726 | 28.0 | 1,272  | — | 1,161 | — | 981              | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 469百万円(△56.5%) 2022年3月期第2四半期 1,079百万円(—%)

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2023年3月期第2四半期 | △79.04          | —                          |
| 2022年3月期第2四半期 | 138.56          | —                          |

## (2) 連結財政状態

|               | 総資産    | 純資産    | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
|               | 百万円    | 百万円    | %      | 円 銭      |
| 2023年3月期第2四半期 | 75,721 | 10,733 | 14.0   | 1,430.42 |
| 2022年3月期      | 68,727 | 10,176 | 14.7   | 1,380.52 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,608百万円 2022年3月期 10,074百万円

## 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |       |       |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   |
| 2022年3月期     | —      | 12.50  | —      | 12.50 | 25.00 |
| 2023年3月期     | —      | 12.50  | —      | —     | —     |
| 2023年3月期(予想) | —      | —      | —      | 12.50 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高    |      | 営業利益 |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|------|------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
|    | 百万円    | %    | 百万円  | %    | 百万円   | %    | 百万円             | %    | 円 銭            |
| 通期 | 92,000 | 20.6 | 700  | 42.2 | 1,700 | 34.0 | 1,200           | △6.8 | 163.50         |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2022年11月11日)公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異並びに通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

|                     |            |            |            |            |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期2Q | 8,171,301株 | 2022年3月期   | 8,153,401株 |
| ② 期末自己株式数           | 2023年3月期2Q | 754,584株   | 2022年3月期   | 855,676株   |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 2023年3月期2Q | 7,339,542株 | 2022年3月期2Q | 7,087,087株 |

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度および業績連動型インセンティブ制度を導入しており、当該自己株式を、期末自己株式数および期中平均株式数を算定上控除する自己株式数へ含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明               | 4  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明    | 4  |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記           | 5  |
| (1) 四半期連結貸借対照表               | 5  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7  |
| 四半期連結損益計算書                   |    |
| 第2四半期連結累計期間                  | 7  |
| 四半期連結包括利益計算書                 |    |
| 第2四半期連結累計期間                  | 8  |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書        | 9  |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項        | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記)              | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)     | 11 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)    | 11 |
| (追加情報)                       | 12 |
| (セグメント情報等)                   | 13 |
| (収益認識関係)                     | 15 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における世界経済は、いよいよ復活した海外出張を通じて垣間見た世界の人々の暮らしやビジネスカンファレンスの再開から、新型コロナウイルスからの確かな脱却を、脱マスク政策を基とした人々の賑わいにより景気回復とともに強く実感させられました。ただし、原材料高、物価高を原因とした景気減速に端を発するリセッション(景気後退)が引続き囁かれるなど、今まで同様一進一退の景況感が好転しているとはいいかねます。

他方、未だ収まらぬロシアによるウクライナ侵攻は、小さな希望を抱いて新常态で生きる人々に大きな暗い影を落とし続けています。一日も早く、全ての人々が平和に暮らせることを心から願ってやみません。当然、当社を取り巻く経済環境もまた、長期的なサプライチェーンの歪み、かつてない原材料高や材料調達難、そして上記ロシアによるウクライナ侵攻の長期化により、見通しが更に難しく、変わらず引き続き精密な舵取りが要求されています。

国内経済におきましても、欧米を中心とした諸外国では先述したような脱マスク含め従来に近い人々の暮らしが戻っていますが、日本では日本らしい慎重な感染対策は相も変わらず、ウイルスによる健康被害、特に死亡者数は他国に比べ確実に抑えられているものの、経済の徹底した停滞はやはり否めず、景気回復の時期はまだまだ不透明と言わざるを得ません。

加えて、何よりも半導体の絶対的な不足を中心としたサプライチェーンの不安は、引き続き私たちものづくり企業にとって非常に大きな脅威となっており、鉄、銅、原油価格の上昇、電子部品については価格上昇のみならず同じく供給不足に悩まされる毎日が、とうとう夏をあきらめて、天高く馬肥ゆる豊穰の秋の声を聴くこともなく、枯葉散る晩秋を迎えることと相なりました。未だにニュース速報で新規感染者数が報道されますが、そのことを気にしてしまう我々のその気持ちこそが何となく季節を巡らせ景気を後退させている、なればこそ己を叱咤し、今一度顔を上げ烈しく連戦猛進をせねばならぬ、左様に自らを戒めています。

だからこそ、ソーシャルディスタンスに配慮しながらの直接の商談を、顧みるコロナ禍での2年半、隔たりのなかでさえ叶えてきたその月日乗り越え、更に国内外問わずいくつもいくつも積み重ね始めたなかで、各企業様の首脳陣幹部方々と語り、ともに未来へ、そして景気回復へ向かう本来の旅路、巡行航路に就こうとする意志を共有、実感できたことは、せめてものことと胸を撫でおろしていると付記しておきます。

このような状況の下、当社グループは、変わらず「D S A 2021再点火反転攻勢版(2020年9月8日リリース)」にて策定した「車と家をものづくりでつなぐ」を更に具現化すべく2022年6月6日にリリースした「再点火反転攻勢のむこうがわⅢ」に基づき、「必達目標」と「次の狙い」を定め、新常态及び脱炭素社会で求められる再生可能エネルギー拡大の中心となるパワーコンディショナ並びに蓄電システム、電動化を含むモータリゼーション並びにエアコンのインバータ化の世界的展開等への電力変換技術を核とした技術、それらの深化及び発展、加えて収益構造の更なる強化、E S G経営の強化に連戦猛進して参りました。

進行期も、半導体の絶対的な不足を中心としたグローバルサプライチェーンの不安がいくばくかでも和らげてきたなか、今まで「ものつくれず」のなか取り組んできた「環境整備」、「カイゼン」を土台とし、引き続き「つくりやすさ」、「買いやすさ」のつくりこみ、既に開設及び運用されている鳥取コールセンターの拡充、アフターサービスの充実、当社御仕入先様持株会組織である「All Diamonds」の企業様方々と共に取り組む「Coil the World」、グローバルサプライチェーン再構築、そして下半期後半から来期にかけて業績を回復させる爆発的生産大回復に向けて挙社一致体制で取り組み続けます。尚、左記はつまり、ゼブラ電子株式会社すなわち栃木大田原工場の稼働率が9月度より100%を上回り「ものづくり企業」復活の狼煙を上げたことをいささかの矜持とともに付け加えておくものであります。

そして、「再点火反転攻勢のむこうがわ」で躍き疾走するべく、2016年7月より不変の方針である「お客様要求品質第一に徹する」ものづくり企業としてお客様の発展に寄与し、ひいては社会の豊かさに貢献するべく、女性や外国人の方々の積極採用、並びに女性や外国人の働く仲間達の登用にも積極的に取り組み、多面体に躍り働く仲間達一致して、現業の改善並びに新常态の時代に資する独自の技術開発に連戦猛進して参ります。

最後になりますが、重ねて、約2年半に及び未知のウイルスと闘ってきた医療関係者の方々、学校に行けぬ子供達のケアや人々の生活を守るために働いてきた方々に最大限の敬意と感謝を表します。そして、ゆえなき戦争で命を奪われ、或いは生活を奪われたすべての人々に哀悼の意を表し、私たちみんなが平穏に暮らせることを願ってやみません。

当第2四半期連結累計期間の売上高は432億63百万円(前年同期比11.7%増)、営業損失は15億83百万円(前年同期は営業利益12億72百万円)、経常損失は2億20百万円(前年同期は経常利益11億61百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億80百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億81百万円)となりました。これは、主に材料費の上昇によって売上総利益率が悪化したことによるものであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 自動車機器事業

自動車機器事業は、世界的な半導体不足や新型コロナウイルスの感染拡大による生産台数調整はありましたが、昨年の販売減少からは回復し、売上高163億76百万円(前年同期比26.3%増)となりました。利益面では原材料価格の高騰、部品不足を起因とした物流費アップ等の影響を受け、セグメント損失は16億89百万円(前年同期はセグメント損失5億83百万円)となりました。

② エネルギーソリューション事業

エネルギーソリューション事業は、蓄電ハイブリッドシステム(E I B S 7)が世界的な半導体不足の継続により生産が停滞し、売上高103億8百万円(前年同期比19.8%減)となりました。利益面でも上記売上高減少の影響及び原材料価格高騰の影響を受け、セグメント利益は9億2百万円(前年同期比66.3%減)となりました。

③ 電子機器事業

電子機器事業は、電子部品の調達逼迫による生産減少の影響はありましたが、グローバルにおける冷暖房機器用部品の販売が増加したことにより、売上高165億78百万円(前年同期比28.4%増)となりました。利益面においても販売額が増加した効果により、セグメント利益は3億90百万円(前年同期比112.1%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は757億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて69億93百万円増加しました。主な増加は、受取手形及び売掛金21億80百万円、原材料及び貯蔵品13億6百万円、建設仮勘定8億35百万円、商品及び製品6億70百万円であります。

負債は649億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて64億37百万円増加しました。主な増加は、短期借入金22億24百万円、長期借入金11億2百万円、社債10億円、支払手形及び買掛金6億89百万円であります。

純資産は107億33百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億56百万円増加しました。主な増加は、為替換算調整勘定11億98百万円であり、主な減少は、利益剰余金6億80百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の14.7%から14.0%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加し、108億69百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は、34億94百万円（前年同期は2億19百万円の使用）となりました。主な要因は、減価償却費が12億30百万円あったものの、売上債権の増加が16億1百万円、棚卸資産の増加が12億49百万円、為替差益が10億96百万円あったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、9億89百万円（前年同期は21億16百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が8億21百万円あったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、41億63百万円（前年同期は21億61百万円の獲得）となりました。主な要因は、短期借入れによる収入が24億6百万円、長期借入れによる収入が18億48百万円があった一方、長期借入金の返済による支出が11億円あったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、本日（2022年11月11日）公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異並びに通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                         |                              |
| 流動資産          |                         |                              |
| 現金及び預金        | 10,745                  | 10,875                       |
| 受取手形及び売掛金     | 12,900                  | 15,080                       |
| 電子記録債権        | 551                     | 855                          |
| 有価証券          | 97                      | 115                          |
| 商品及び製品        | 4,683                   | 5,354                        |
| 仕掛品           | 1,234                   | 1,587                        |
| 原材料及び貯蔵品      | 12,169                  | 13,475                       |
| その他           | 3,640                   | 3,521                        |
| 貸倒引当金         | △3                      | △9                           |
| 流動資産合計        | 46,019                  | 50,856                       |
| 固定資産          |                         |                              |
| 有形固定資産        |                         |                              |
| 建物及び構築物（純額）   | 4,504                   | 4,852                        |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,779                   | 4,837                        |
| 土地            | 3,306                   | 3,388                        |
| 建設仮勘定         | 2,005                   | 2,841                        |
| その他（純額）       | 851                     | 962                          |
| 有形固定資産合計      | 15,447                  | 16,882                       |
| 無形固定資産        |                         |                              |
| のれん           | 40                      | 37                           |
| その他           | 394                     | 538                          |
| 無形固定資産合計      | 435                     | 575                          |
| 投資その他の資産      |                         |                              |
| 投資有価証券        | 2,908                   | 3,182                        |
| 長期貸付金         | 10                      | 10                           |
| 繰延税金資産        | 740                     | 911                          |
| 退職給付に係る資産     | 457                     | 298                          |
| その他           | 2,929                   | 3,225                        |
| 貸倒引当金         | △220                    | △220                         |
| 投資その他の資産合計    | 6,826                   | 7,407                        |
| 固定資産合計        | 22,708                  | 24,865                       |
| 資産合計          | 68,727                  | 75,721                       |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間<br>(2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 支払手形及び買掛金     | 8,792                   | 9,482                        |
| 電子記録債務        | 5,239                   | 4,917                        |
| 契約負債          | 4,383                   | 4,332                        |
| 短期借入金         | 14,405                  | 16,629                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,409                   | 3,764                        |
| リース債務         | 189                     | 237                          |
| 未払金           | 1,547                   | 1,686                        |
| 未払法人税等        | 221                     | 431                          |
| 賞与引当金         | 503                     | 830                          |
| 製品保証引当金       | 453                     | 429                          |
| 製品補償引当金       | 291                     | 292                          |
| その他           | 869                     | 1,168                        |
| 流動負債合計        | 40,307                  | 44,204                       |
| 固定負債          |                         |                              |
| 社債            | -                       | 1,000                        |
| 長期借入金         | 15,602                  | 16,705                       |
| リース債務         | 750                     | 1,142                        |
| 退職給付に係る負債     | 845                     | 882                          |
| 資産除去債務        | 218                     | 220                          |
| 繰延税金負債        | 656                     | 673                          |
| 長期前受収益        | 152                     | 139                          |
| その他           | 19                      | 20                           |
| 固定負債合計        | 18,244                  | 20,784                       |
| 負債合計          | 58,551                  | 64,988                       |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 654                     | 664                          |
| 資本剰余金         | 9,716                   | 9,759                        |
| 利益剰余金         | 901                     | 220                          |
| 自己株式          | △1,797                  | △1,685                       |
| 株主資本合計        | 9,474                   | 8,959                        |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| その他有価証券評価差額金  | △72                     | △59                          |
| 為替換算調整勘定      | 610                     | 1,808                        |
| 退職給付に係る調整累計額  | 62                      | △100                         |
| その他の包括利益累計額合計 | 600                     | 1,649                        |
| 新株予約権         | 1                       | 22                           |
| 非支配株主持分       | 100                     | 101                          |
| 純資産合計         | 10,176                  | 10,733                       |
| 負債純資産合計       | 68,727                  | 75,721                       |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

|                                       | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高                                   | 38,726  | 43,263  |
| 売上原価                                  | 32,424  | 38,079  |
| 売上総利益                                 | 6,302   | 5,184   |
| 販売費及び一般管理費                            | 5,030   | 6,767   |
| 営業利益又は営業損失(△)                         | 1,272   | △1,583  |
| 営業外収益                                 |   |   |
| 受取利息                                  | 11  | 4   |
| 受取配当金                                 | 13  | 14  |
| 為替差益                                  | -   | 1,586   |
| 補助金収入                                 | 7   | 13  |
| 持分法による投資利益                            | 9   | 59  |
| その他                                   | 65  | 44  |
| 営業外収益合計                               | 106   | 1,721   |
| 営業外費用                                 |   |   |
| 支払利息                                  | 114   | 170   |
| 為替差損                                  | 2   | -   |
| 支払手数料                                 | 43  | 73  |
| その他                                   | 57  | 116   |
| 営業外費用合計                               | 218   | 359   |
| 経常利益又は経常損失(△)                         | 1,161   | △220  |
| 特別利益                                  |   |   |
| 固定資産売却益                               | 9   | 2   |
| 債務免除益                                 | 332   | -   |
| リース債務解約益                              | 101   | -   |
| その他                                   | 4   | 6   |
| 特別利益合計                                | 448   | 9   |
| 特別損失                                  |   |   |
| 固定資産売却損                               | 8   | 0   |
| 固定資産除却損                               | 0   | 2   |
| 過去勤務費用償却額                             | 67  | -   |
| 子会社整理損                                | 59  | -   |
| 特別損失合計                                | 135   | 2   |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)         | 1,473   | △213  |
| 法人税等                                  | 502   | 365   |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)                     | 971   | △579  |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △10   | 0   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 981   | △580  |

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

|                   | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 971   | △579  |
| その他の包括利益          |   |   |
| その他有価証券評価差額金      | △7  | 13  |
| 為替換算調整勘定          | 142   | 1,092   |
| 退職給付に係る調整額        | △45   | △163  |
| 持分法適用会社に対する持分相当額  | 18  | 105   |
| その他の包括利益合計        | 108   | 1,048   |
| 四半期包括利益           | 1,079   | 469   |
| (内訳)              |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益   | 1,090   | 468   |
| 非支配株主に係る四半期包括利益   | △10   | 0   |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

|                               | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>       |   |   |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 1,473   | △213  |
| 減価償却費                         | 1,067   | 1,230   |
| 子会社整理損                        | 59  | -   |
| 債務免除益                         | △332  | -   |
| リース債務解約益                      | △101  | -   |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少)               | △1  | 4   |
| 賞与引当金の増減額(△は減少)               | 225   | 307   |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少)             | △26   | △24   |
| 製品補償引当金の増減額(△は減少)             | -   | 1   |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少)           | 44  | 43  |
| 受取利息及び受取配当金                   | △25   | △18   |
| 支払利息                          | 114   | 170   |
| 為替差損益(△は益)                    | △18   | △1,096  |
| 持分法による投資損益(△は益)               | △9  | △59   |
| 売上債権の増減額(△は増加)                | 1,647   | △1,601  |
| 棚卸資産の増減額(△は増加)                | △1,931  | △1,249  |
| 仕入債務の増減額(△は減少)                | △588  | 126   |
| 未払金の増減額(△は減少)                 | △319  | 187   |
| 契約負債の増減額(△は減少)                | 233   | △51   |
| 長期前払費用の増減額(△は増加)              | △565  | △288  |
| 長期前受収益の増減額(△は減少)              | △18   | △25   |
| その他                           | △618  | △660  |
| 小計                            | 308   | △3,215  |
| 利息及び配当金の受取額                   | 23  | 18  |
| 利息の支払額                        | △115  | △188  |
| 法人税等の還付額                      | 2   | -   |
| 法人税等の支払額                      | △440  | △108  |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー              | △219  | △3,494  |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>       |   |   |
| 有形固定資産の取得による支出                | △2,070  | △821  |
| 有形固定資産の売却による収入                | 8   | 7   |
| 無形固定資産の取得による支出                | △30   | △192  |
| 投資有価証券の取得による支出                | △6  | △0  |
| 投資有価証券の償還による収入                | 44  | 44  |
| 貸付けによる支出                      | △2  | △1  |
| 貸付金の回収による収入                   | 1   | 1   |
| 関係会社株式の取得による支出                | △77   | △94   |
| その他                           | 16  | 66  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー              | △2,116  | △989  |

(単位：百万円)

|                             | 前第2四半期連結累計期間<br>(自 2021年4月1日<br>至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間<br>(自 2022年4月1日<br>至 2022年9月30日) |
|-----------------------------|---|---|
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>     |   |   |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少)           | 124   | 2,406   |
| 長期借入れによる収入                  | 5,635   | 1,848   |
| 長期借入金の返済による支出               | △4,172  | △1,100  |
| 社債の発行による収入                  | -   | 972   |
| 社債の償還による支出                  | △15   | -   |
| 自己株式の処分による収入                | 1,646   | 0   |
| 自己株式の取得による支出                | △1,649  | △0  |
| セール・アンド・リースバックによる収入         | 8   | 206   |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出        | △210  | △111  |
| 配当金の支払額                     | △86   | △100  |
| 新株予約権の発行による収入               | -   | 22  |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入       | 890   | 20  |
| その他                         | △10   | △1  |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>     | <b>2,161</b>                                  | <b>4,163</b>                                  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額            | 33  | 450   |
| <b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b> | <b>△141</b>                                   | <b>130</b>                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高              | 15,412  | 10,739  |
| <b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>     | <b>15,270</b>                                 | <b>10,869</b>                                 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間において、当社の第4回新株予約権(行使価額修正条項及び行使許可条項付)について権利行使がありました。これにより、資本金が10百万円、資本準備金が10百万円増加しております。

また、取締役等に対する譲渡制限付株式報酬制度の導入に伴い、2022年6月24日開催の取締役会決議に基づき、2022年7月19日付で自己株式101,200株の処分を行い、資本剰余金が32百万円増加し、自己株式が112百万円減少しております。

これらの影響により、当第2四半期連結会計期間末において資本金664百万円、資本剰余金9,759百万円、自己株式は1,685百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、当第2四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(譲渡制限付株式報酬制度)

当社は、2021年6月25日開催の第3期定時株主総会の決議により、当社の取締役(監査等委員及び社外取締役を含む。)、委任型執行役員及び技監ならびに主要なグループ会社(ダイヤモンド電機株式会社及びダイヤゼブラ電機株式会社をいう。)の取締役に対して、譲渡制限付株式報酬制度を導入しております。本制度は、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めること、あるいは、経営方針や経営改善についての助言や経営の監督を通じて会社の持続的成長や中長期的企業価値の向上に貢献する意識を一層高めることを目的として導入したものです。

上記制度に基づき、2022年6月24日開催の当社取締役会において決議いたしました譲渡制限付株式報酬の割当として、2022年7月19日に自己株式101,200株の処分(145百万円)に関し、払込手続きが完了しております。

(業績連動型株式報酬制度)

(1) 取引の概要

当社は、2021年6月25日開催の第3期定時株主総会の決議により、当社の取締役(社外取締役及び監査等委員である取締役を除く。)、委任型執行役員及び技監に対して、業績連動型株式報酬制度として「役員向け株式給付信託」を導入いたしました。

また、本総会において本役員向けの承認可決を条件に、当社及び主要な当社グループ会社の社員(部長格以上)を対象に導入を予定しておりました業績連動型インセンティブ制度として「社員向け株式給付信託」を導入いたしました。

上記の業績連動型株式報酬制度及び業績連動型インセンティブ制度は、企業会計基準委員会が公表した「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)を適用しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末1,646百万円、720,000株、当第2四半期連結会計期間末1,646百万円、720,000株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

|                       | 報告セグメント     |                        |            | 合計     | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額(注) 2 |
|-----------------------|-------------|------------------------|------------|--------|--------------|----------------------------|
|                       | 自動車機器<br>事業 | エネルギー<br>ソリューション<br>事業 | 電子機器<br>事業 |        |              |                            |
| 売上高                   |             |                        |            |        |              |                            |
| 外部顧客への売上高             | 12,964      | 12,845                 | 12,916     | 38,726 | —            | 38,726                     |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | —           | —                      | —          | —      | —            | —                          |
| 計                     | 12,964      | 12,845                 | 12,916     | 38,726 | —            | 38,726                     |
| セグメント利益<br>又は損失(△)    | △583        | 2,675                  | 183        | 2,275  | △1,003       | 1,272                      |

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△) 調整額△1,003百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,003百万円であります。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

(単位：百万円)

|       | 報告セグメント     |                        |            |    | その他 | 合計 |
|-------|-------------|------------------------|------------|----|-----|----|
|       | 自動車機器<br>事業 | エネルギー<br>ソリューション<br>事業 | 電子機器<br>事業 | 合計 |     |    |
| 当期償却額 | —           | 2                      | 0          | 3  | —   | 3  |
| 当期末残高 | —           | 36                     | 7          | 44 | —   | 44 |

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

|                       | 報告セグメント     |                        |            | 合計     | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額(注) 2 |
|-----------------------|-------------|------------------------|------------|--------|--------------|----------------------------|
|                       | 自動車機器<br>事業 | エネルギー<br>ソリューション<br>事業 | 電子機器<br>事業 |        |              |                            |
| 売上高                   |             |                        |            |        |              |                            |
| 外部顧客への売上高             | 16,376      | 10,308                 | 16,578     | 43,263 | —            | 43,263                     |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | —           | —                      | —          | —      | —            | —                          |
| 計                     | 16,376      | 10,308                 | 16,578     | 43,263 | —            | 43,263                     |
| セグメント利益<br>又は損失(△)    | △1,689      | 902                    | 390        | △396   | △1,186       | △1,583                     |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△) 調整額△1,186百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,186百万円であります。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

(単位：百万円)

|       | 報告セグメント     |                        |            |    | その他 | 合計 |
|-------|-------------|------------------------|------------|----|-----|----|
|       | 自動車機器<br>事業 | エネルギー<br>ソリューション<br>事業 | 電子機器<br>事業 | 合計 |     |    |
| 当期償却額 | —           | 2                      | 0          | 3  | —   | 3  |
| 当期末残高 | —           | 31                     | 6          | 37 | —   | 37 |

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

|               | 報告セグメント |                |        | 合計     |
|---------------|---------|----------------|--------|--------|
|               | 自動車機器事業 | エネルギーソリューション事業 | 電子機器事業 |        |
| 日本            | 3,160   | 11,706         | 5,467  | 20,334 |
| 米国            | 4,181   | —              | 139    | 4,320  |
| 欧州            | 695     | —              | 1,989  | 2,685  |
| 中華人民共和国       | 1,241   | —              | 2,249  | 3,490  |
| アジアその他        | 3,684   | 1,139          | 3,071  | 7,895  |
| 顧客との契約から生じる収益 | 12,964  | 12,845         | 12,916 | 38,726 |
| その他の収益        | —       | —              | —      | —      |
| 外部顧客への売上高     | 12,964  | 12,845         | 12,916 | 38,726 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

|               | 報告セグメント |                |        | 合計     |
|---------------|---------|----------------|--------|--------|
|               | 自動車機器事業 | エネルギーソリューション事業 | 電子機器事業 |        |
| 日本            | 3,311   | 9,197          | 6,922  | 19,431 |
| 米国            | 6,047   | —              | 204    | 6,252  |
| 欧州            | 710     | —              | 2,125  | 2,835  |
| 中華人民共和国       | 1,915   | —              | 2,741  | 4,657  |
| アジアその他        | 4,391   | 1,111          | 4,584  | 10,087 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 16,376  | 10,308         | 16,578 | 43,263 |
| その他の収益        | —       | —              | —      | —      |
| 外部顧客への売上高     | 16,376  | 10,308         | 16,578 | 43,263 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。